

PPP 事業部  
PPP 事業部課長  
大矢 英生



## 次世代へバトンをつなぎ、 より豊かな地域社会を実現

### 「官民連携の事業で高品質なサービスを提供」

PPP 事業部の業務内容を教えてください。

営業本部 PPP 事業部では、指定管理者、PFI、包括的民間委託、コンセッションなど、多岐にわたる官民連携手法に柔軟に対応しながら、事業全般に取り組んでいます。当社が培った豊富な知見をもとに、公共施設の維持管理・運営を通じて、多くの利用者に満足いただける質の高いサービスを提供しています。さらに、SDGs（持続可能な開発目標）への貢献という重要な役割も担っています。

### 「密接なパートナーシップで SDGs に貢献」

PPP 事業部は、SDGs のどの目標に貢献する部署ですか？

当初は、私たちの業務が SDGs に直接関連しているとは考えていませんでした。しかし、業務内容を深く見直すと、自分たちの活動が SDGs の目標に貢献していることに気づきました。PPP 事業部は、SDGs の目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」を構成する 19 のターゲットのうち、マルチステークホルダー・パートナーシップに関わる 17.17 に該当します。17.17 には、「さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」と掲げられており、まさに私たちの業務の本質に一致します。また、日々のさまざまな業務が、SDGs の目標に貢献していると感じます。

具体的に、どのようにして SDGs に取り組んでいますか？

PPP 事業部では、大きく「水質管理と健康の保護」「地域住民への価値提供」「多様な連携の推進」の 3 つの分野に分けて SDGs を推進しています。それぞれで、SDGs の目標を掲げて業務に取り組んでいます。

**ではまず「水質管理と健康の保護」の活動内容と、該当する SDGs の目標について教えてください。**

プールや温浴施設の維持管理・運営業務では、利用者の健康を守るために徹底した水質管理を行なっています。これは、SDGs の目標 6「すべて

の人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」に該当します。清潔で安全な施設運営は、公衆衛生の向上と地域住民の健康維持に役立つ重要な業務のひとつです。

**「地域住民への価値提供」はいかがですか。**

私たちが運営を担っている施設は、地域住民が気軽に利用できる憩いの場として機能しており、住民同士のコミュニケーション促進や健康維持・増進の場として重要な役割を果たしています。地域の活性化に貢献する施設運営業務は、SDGs の目標 11「包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する」に貢献することになります。

**「多様な連携の推進」についても教えてください。**

私たちは地域の団体や企業と連携し、地域社会の発展に取り組んでいます。たとえば、多様な背景を持つ利用者へ配慮し、顧客対応の一環として外国語対応を進めています。また、町田市内の小学校からの依頼を受け、水難事故防止のために地域の学校と連携し、「着衣水泳（衣類を着たまま入水）」の体験活動を実施しています。この活動は、前述した SDGs の目標 17 と同様の目的で活動していました。

**SDGs の目標に当てはまる業務が多いですね。**

そうですね、日々の地道な活動が、SDGs に貢献していることを実感しています。今後も SDGs の目標達成を強く認識し、力を尽くしたいと思います。

### 「持続可能な成長を促し、地域社会の発展に貢献」

今後の展望や目標について教えてください。

PPP 事業部が培ってきた公共施設管理・運営の経験を活かし、地域社会の発展に貢献できることに大きなやりがいを感じています。これからも地域の団体・企業と協力しながら、よりよい未来を築くために尽力します。また、次世代へバトンをつなぎ、会社の持続可能な成長を実現するため、SDGs の理念を大切にしながら努力を重ねていきます。地域の皆様の暮らしをより豊かにするお手伝いができたら幸いです。